

教材3-⑥ 言葉の知識

年 組 番 名前

◆1 次の文の一部分の主語と述語の組み合わせとして、最も適切なものを次の中から選び、その番号を書きなさい。
今年の 冬は、家族全員が かぜを ひきました。

- ① (主語) 今年の (述語) ひきました
- ② (主語) 冬は (述語) ひきました

- (主語) ひきました
- (述語) ひきました

- ③ (主語) 家族全員が (主語) かぜを
- (述語) ひきました

- (主語) ひきました
- (述語) ひきました

◆2 「言葉の単位」(意味や発音により分けられる言葉の「まとまり」)のことは五つある。次の(1)～(5)の言葉の単位についての説明をあとの語群ア～エから選び、記号で答えなさい。

- (1) 「文章」
- (2) 「段落」
- (3) 「文」
- (4) 「文節」
- (5) 「単語」

語群

- ア 言葉の意味を壊さないように、文節をさらに細かく分けたもの。それだけで使える言葉としては最小の単位。
- イ 文章を内容によって分けたひとまとまり。
- ウ 発音や意味のうえで不自然にならないように、できるだけ短く区切ったまとまり。
- エ ひとまとまりの事柄や考えを表した、ひと続きの言葉。書き言葉では、文の終わりに句点(。)が付く。
- オ 文が集まって、全体でまとまった内容を表したもの。

◆3 「文節」を五種類にわけたものを文の成分といいます。そのうち「どうする、どんなだ、ある、いる、ない、何だ」を表すものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- ①主語 ②述語 ③修飾語 ④独立語 ⑤接続語